



満開の桜に見送られて

校長 小林 理人

満開の桜が子供たちの成長を喜び、祝福しているかのように咲き誇っています。

明日はこの桜に見送られて67名の卒業生が国立二小を巣立ちます。この1年、学校のリーダーとして、二小の伝統を守るだけでなくより良いものを求めて様々な挑戦をし続けた6年生に満開の桜が「よく頑張ったね。卒業おめでとう！中学校でも頑張ろう」とエールを送っているようです。

今日は修了式がありました。修了式では児童を代表して、1年生ができるようになったことや頑張ったことを堂々と発表しました。そして、私はこの1年間を振り返り、子供たちの成長を感じた場面や印象に残った子供たちの姿を次のように紹介しました。

入学式で学習成果を発表(1年) 自らの成長を確かめ、伝える学習(2年)

1年生は、例年、入学式で在校生を代表して1年間の学習の成果を披露します。来年度の入学式では式場の密集を避けるために、学習を通してできるようになったことを撮影し、開式前に披露することになりました。できるようになった喜びを笑顔で発表する1年生の姿に1年間学んだ自信を感じました。

2年生は生活科の学習で一人一人の成長の記録をつくりました。頑張っているようになったことや、それに関わってくださった方への感謝の気持ちなどを、学習や生活で身に付けた力を活かして作品にまとめました。子供たちの作品からは、身に付けた力や成長の大きさを感じました。

矢川たんけんのまとめ(3年) 屋上庭園を引き継ぐ活動(4年)

3年生は、年間を通して矢川たんけんを行いました。国立市の南部を流れる府中用水やママ下湧水などの豊かな自然に親しみ、季節ごとの自然の美しさや楽しさを感じながら郷土くにたちの良さを味わう学習です。子供たちは自らの興味・関心や疑問から課題をもち、調べたり考えたりしました。子供たちの活動や作品から課題解決力の高まりを感じました。

4年生は年間を通して屋上にある庭園を守り育てたり、そこで楽しんだりする活動を行いました。昨年度の4年生から引き継いだ二小の良さや伝統を未来につなげる活動です。屋上や中央玄関前の花壇での緑化活動を行っている保護者の皆様と協力しながら屋上がみんなの憩いの場になるように高学年らしい活動を継続することができました。

引継ぎ活動(5年) 感謝の会(6年)

4月から最高学年となる5年生は、6年生との引継ぎ活動を行いました。伝統の二松ソーランの踊りはもちろんのこと、踊りに込める「二小魂」についても丁寧に教えてもらいました。また、今年度は卒業式にも参加をし、二小の伝統を引き継ぎ、新しいリーダーとなることへの決意を新たにしました。

6年生は実行委員の子供たちが中心となり、保護者の皆様に感謝の気持ちを伝える方法を考えました。そして、保護者の方と一緒に楽しめるクイズの内容を考えたり、合奏や手紙で感謝の気持ちを伝えたりしました。保護者の皆様への感謝の気持ちと優しさ、そして、保護者の皆様の深い愛と温かさを改めて感じました。

プラタナスの子供たちは、友達と仲良く過ごしたり、一人一人の個性や特性を生かしたりしながら、それぞれの良さを校庭にあるプラタナスのように大きく伸ばすことができました。

修了式を終えて、各学級では担任から成長の証としてあゆみが渡されました。そして、1年間の教育活動を笑顔で修了した子供たちに、この春で見納めとなる正門から校舎へと続く並木の桜が「よく頑張ったね。えらいね。」「みんなの笑顔と元気がうれしかったよ。ありがとう。」と話しかけてくれているようでした。

結びになりますが、子供たちの成長を支え、励ましてくださった皆様に心から感謝申し上げます。